武蔵村山市立小中一貫校　村山学園

学園だより

令和７年度３月号
統括校長　井内　潔
令和８年３月２日

【教育目標】　人にやさしく　自分に強く　英知を磨く村山の子

http://musashimurayama.ed.jp/mmced4s/

節目の頃　「変わるもの」と「変わらないもの」

統括校長　井内　潔

校舎外装改修工事終了後（東棟）

朝夕の冷え込みは残るものの、日中にはやわらかな日差しが差し込み、春の気配が感じられる季節となりました。桜の枝先にふくらむ蕾を眺めていると、まもなく迎える卒業・進級の節目に向けて、子供たち一人一人の成長が重なって見えてきます。

さて、今年を振り返れば、一年を通して子供たちは学習や学校行事を重ねながら、着実に階段を登るように成長しました。上級生として下級生を導く姿、自ら課題に挑戦する姿、あるいは思うようにいかず悔しさを味わう姿。その全てが、これからの未来を支える大切な糧となっています。卒業・進級という節目を迎える今こそ、これまで積み重ねてきた努力をしっかりと認め、自信を胸に次の一歩を踏み出してほしいと願っています。

ところで、私自身も日々驚かされますが、社会全体の変化はますます加速し、子供たちのスマートフォン所有率は年々高くなり、生成 AI などのデジタル技術の浸透も進んでいます。便利になる一方で、手軽に答えが得られることで「学ぶ本質」が見えにくくなる面もあります。大切なのは、生成 AI に頼るだけでなく、自分で考え、判断し、試行錯誤する力です。読書や計算、友達との関わりなど、先輩たちが積み重ねてきた地道な学びは、どれほど社会が変わっても子供たちの成長の土台として揺らぐことはありません。生成 AI を上手に活用しつつも、最後に判断するのは自分自身であるという姿勢を育てることが重要です。そして、子供たちを支えるのは、日常の小さな励ましや寄り添いといった、人の温かい関わりであると改めて感じています。

※AI＝Artificial Intelligence（人工知能）
「人のように考えたり判断したりするコンピュータの仕組み」

間もなく迎える卒業式や修了式では、子供たちはこれまで以上に頼もしい表情を見せてくれることと思います。教室での学びや友達との関わり、行事での経験など、日々の積み重ねが子供たちを大きく成長させました。その姿をそばで見守ることができたことは、私たち教職員にとっても大きな喜びです。９年生は、村山学園で過ごした日々が、子供たちの自信となり、これから歩む未来への確かな支えとなることを心より願っています。

保護者・地域の皆様には、今年度も本校の教育活動に温かい御理解と御協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。皆様から頂いた子供たちへのお誉めの言葉は、大きな励みとなりました。新年度も引き続き、子供たちを共に支えていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。